

事務事業名		子育て支援活動・交流の促進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	02 安全が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	08 子ども・子育て支援の充実				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 子育て支援環境の充実				01	03	02	01	02
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不明 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	生活福祉部子ども課				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	下田牧子				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	保育係	電話 27-3111			E 一般(A～E以外)				
	担当者	岡崎充博	内線 192							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
異年齢児交流や世代間交流などの保育事業を展開し、地域内における子育て支援体制の整備を図るため、地域に最も密着した保育施設である民間保育所に「子育て支援活動・交流の促進事業」を委託する。 【手順】 ①委託契約②実績報告③委託料支払い 【委託単価】 1施設あたり年間150,000円。				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金				
						都道府県支出金				
						地方債				
						その他				
						一般財源				
						事業費計(A)	0			
				正規職員従事人数						
				延べ業務時間						
				人件費計(B)	0					
				トータルコスト(A)+(B)	0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
民間保育所に委託した。 (28年度は七夕会・敬老会・中学、高校生や高齢者等との世代間交流事業等を実施した。)		ア	民間保育所数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様。 事業内容は保育所の地域色を活かしてしてもらう。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
民間保育所		名称	
		単位	
		カ	民間保育所数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
異年齢児交流や世代間交流などの保育事業を展開できる。		名称	
		単位	
		サ	事業参加者数(児童・地域住民延べ人数)
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安心して子どもを産み育ててもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,350	1,350	1,305	1,305	1,305	1,305
		事業費計(A)	千円	1,350	1,350	1,305	1,305	1,305	1,305
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	20	20				
		人件費計(B)	千円	80	80	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,430	1,430	1,305	1,305	1,305	1,305
⑤活動指標	ア	園	9	9	9	9	9	9	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	園	9	9	9	9	9	9	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	人	9772	10000	10000	10000	10000	10000	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0228	事務事業名	子育て支援活動・交流の促進事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	国・県の補助事業導入により開始。 保育所を地域の保育資源として活用し、住民参加型の保育環境を整備する目的で開始された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成17年度から国の補助金ではなく、交付金対象として実施している。(次世代育成支援対策交付金) 平成23年度からは子育て支援交付金、平成24年度からは交付税措置となり、一般財源化された。 機構改革により、平成27年度から、事業の担当課が従前の地域福祉課から子ども課に変更された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 保育所の持つ専門的機能を保育所の中だけでなく地域にも提供することにより、地域との結びつきを強化し、地域の子育てを支援することができる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 児童と地域住民が触れ合う機会の創出により、地域住民の子育て参加意識を醸成し、地域における子育て支援体制の整備を図る観点から、市が実施すべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 全ての民間保育所で実施しているため、対象の設定は妥当である。 異年齢児交流や世代間交流の保育事業を展開することにより、地域における支援体制の強化が図られ、子育て支援の推進につながる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 保育所と地域が連携して事業を行うことにより、成果は達成されている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 保育園は保育の安全管理上、普段は地域住民が気軽に入出りできる場所ではないため、廃止・休止した場合、地域との交流の機会がさらに限られ、地域の子育て支援体制が衰退する恐れがある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在の事業費は事業実施のために必要な最低限の金額に抑えられており、今以上に削減した場合、十分な活動を行うことが困難となる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 保育所との契約事務や実績の確認等に必要最低限の時間で実施しており、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 児童と地域住民の交流機会を目的とするもので、受益者負担金が発生するものではない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	少子化、核家族化が進む中、民間保育園で行われる異年齢児交流、世代間交流等の事業に対する補助であり、地域社会で子育てを支援する機運醸成のために、今後も継続して実施することが望まれる。